

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【公表番号】特表 2014-506956 (P2014-506956A)
【公表日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)
【年通号数】公開・登録公報 2014-015
【出願番号】特願 2013-556891 (P2013-556891)
【国際特許分類】

C 0 8 L 83/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 83/04

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 12 日 (2014.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I) 以下の A 及び B を含む混合物を形成する工程と、

A) 100 重量部の疎水性油、

B) 1 ~ 1000 重量部の、少なくとも 1 つの界面活性剤を有する水連続エマルション、

II) 更なる量の前記水連続エマルション及び / 又は水を、工程 I) で得られた混合物と混合して、二峰性エマルションを形成する工程と、
を含む、二峰性水連続エマルションの製造方法。

【請求項 2】

工程 I) の混合物が、本質的に成分 A) 及び B) からなる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

工程 II) において、更なる量の前記水連続エマルション及び / 又は水を、漸増させながら、工程 I) で得られた混合物に添加し、各増加分が、工程 I) で得られた混合物の 50 重量 % 未満を含み、水連続エマルションの各増加分が、水連続エマルション及び / 又は水の前の増加分の分散後に前のものに順次添加され、十分な増加分の水連続エマルション及び / 又は水を添加して、二峰性エマルションを形成する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記疎水性油が、シリコーンである、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記疎水性油が、有機油である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記水連続エマルションが、シリコーンエマルションである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記水連続エマルションが、有機エマルションである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記混合物に添加される前記水連続エマルション及び / 又は水の量が、少なくとも 75 重量 % の成分 A) 及び B) を含有する二峰性エマルションを与える量である、請求項 1 ~

7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記エマルションが、100,000 cP 未満の粘度を有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記二峰性エマルション中の界面活性剤濃度が、1重量%未満である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記二峰性エマルションが、1重量%未満のシクロシロキサンを含有する、請求項 4 又は 6 に記載の方法。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法によって製造される、二峰性エマルション。